

関東

関東の景況は、輸出が増勢鈍化したものの、個人消費、生産活動が持ち直すなど、回復。

個人消費は、衣料品や家庭用品を中心に大型小売店販売が減少したものの、コンビニエンスストア販売やドラッグストア販売が増加し、乗用車販売も増加するなど、持ち直し。住宅建築は、持家、分譲住宅が増加するなど、足許増加。設備投資は、製造業を中心に投資を積み増す動きがみられるなど、持ち直し。公共工事は、国、都県が減少するなど、足許減少。輸出は、原動機、有機化合物が増加したものの、電気回路機器、自動車が増加するなど、増勢鈍化。

生産活動は、石油製品、鉄鋼が減少したものの、化学、輸送機械が増加するなど、緩やかな持ち直し。観光は、外国客の増加から、宿泊施設の客室稼働率が高水準を維持するなど、緩やかな持ち直しの動き。雇用は、有効求人倍率が高水準で推移するなど、回復。

先行きは、回復の動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸出	生産活動	観光	雇用情勢
								